

# ピオトープ完成

南部小ビオトープ建設委員会

会長 高橋 博

南部小ビオトープ造成委員会の発足から  
半年、先日十一月八日には「通水式」十一  
月十七日に地区

民の皆様と共に植  
栽・仕上げ作業、  
そして「完成式」  
を行いました。又、  
十一月一日には、  
学校主催による  
「開園式」が行わ  
れ、「ねまち」協  
力をいたたいた多  
くの方々、そして  
いじホトープの  
主役の子供達が共  
にヒートープの開  
園を祝いました。  
これからのホト  
ープの生物は体験に入りますが、来年春新

上がる風景が。今後来客をはじめ物語  
物語の立場上、日々の往来  
スケジューの計画など  
ヒートープを活用  
した研修や活動遊  
びの場所、地域の  
多くの憩  
いの場所にな  
るようになります。



## 校長式辞

日々が進む日々の暖かい笑顔、日々  
のヒートープの町の記憶を豊かな社会運  
営へと繋げたい。  
また、遠藤区長もさば「なまよし」と  
いふことや、地元の熱い思いがけりに完成  
されたときながら、南部小ビオトープ  
開園式ができました。感謝の意を込めて、  
いかたく感謝申しあげます。  
今年五月ヒートープ造成委員会  
を設立し、半年の間に南部地区の  
創意を結集し、数年来の念願で  
あります。ヒートープ造成委  
員会も今後さらに事業収支決算報酬金回  
国税局へ寄付採納確認書を提出しておぐて  
の事業が終り解散となります。されども  
協力をいたたいた皆様方と関係者の皆  
様に造成委員会を代表し厚く御礼申し上げ  
ます。おつかれさまでございました。



完成の企

画・造案立案  
作成の企

画・作成の企

資材提供



井忠彦様に心より感謝申上げます。  
ト共進の地域における自然体験活動の重  
要性、この点を重ね、豊かな自然環境を保  
持・発展させることへの懇意や心構え  
の育成、そして、お仕事も子供達も若い  
人が遊びや学びが交流できる場所を求めて  
の御成りありがとうございました。  
「このねまち」の環ひこし、「生

# ピオトープ誕生

南部小ビオトープ  
造成委員会  
H17.12.5

南部小ビオトープ造成委員会の発足から  
半年、先日十一月八日には「通水式」十一  
月十七日に地区

民の皆様と共に植  
栽・仕上げ作業、  
そして「完成式」  
を行いました。又、  
十一月一日には、  
学校主催による  
「開園式」が行わ  
れ、「ねまち」協  
力をいたたいた多  
くの方々、そして  
いじホトープの  
主役の子供達が共  
にヒートープの開  
園を祝いました。  
これからのホト  
ープの生物は体験に入りますが、来年春新

## ピオトープ開園式

平成十七年十一月一日 午前十時より

佐藤誠六寒河江市長様をお迎えし、南部小

ビオトープ開園式を行いました。

入生を迎えた頃には品種くすびひつじの間

「このねまち」の環ひこし、「生

けられたさうした  
造成委員会の高橋博様、と造成委員の皆様、  
そして、南部地区民の熱意の現れです。誠  
じて、お手数も子供達もお世話をしてほ  
うございました。ありがとうございました。佐竹  
講師、高橋講師、佐藤議員様方、寒河江市

新潟県立新潟高等学校 担當教員：伊藤義典（伊藤義典）  
新潟県立新潟高等学校 担當教員：伊藤義典（伊藤義典）

感謝狀

余子思宣稿

貴方は南部小中オートープ造成に当たり  
本校教育活動に深い理解を示され教育  
環境の整備に甚重な土地を供くお出し  
くださいました

お進のたわけですが、設計施工の技術を磨く  
身なりが頗るしたたかかった。運用アーティン  
のパートーションは既述の如くに運営構造  
おなじ事つぱりに実績を見せるが、横  
川さんの手磨い指導があつたからと思ふ  
感謝申し上げます。

さて、児童のみなさん、このアートイベント  
を実現して、花を植え、緑をおねがい、田舎  
に滞ししながら、私たちのものの大切さに  
心を留めながら、心を育んでくれた。私

感  
謝

高橋  
博様

いのと並び、児童の実感環境教育は、先  
方市域内の交流の場として、多くの  
方面に貢献させていただきます。  
開園式で述べた多岐なる活動を踏まえ、  
ここに園長先生御謝の意を表します。  
平成十七年十一月一日  
寒川市立御前山小学校長 安食洋

シナリオ作成6回目

六年  
兒童代表

おじつが出来てます。  
運転席に出ます。『車で営業ですか?』  
のや葉の出立ドアマークを止められない  
にわ強しで聞こます。五時半位の入浴場  
ば「のなかもしろみわ」で駆除され  
はんたりして、ひとつひとつの音が立つ  
てきしこと思ひます。  
田舎の流れで、命を大切に生きる人達  
や農耕者、やむにゆかじてこの地に入植こ  
れました。『田舎の生活』と題して、多く

